保育士になりたい人を応援する

社会福祉法人さとに会

保育士試験に合格しよう　受験のワンポイントアドバイス

直前に参考にするもよし、初めての方も試験に対する考え方をお持ちください。

１．目的

（１）一生懸命勉強したけれど、試験になるとあがってしまってよく解答を間違える

（２）保育士試験は難しい

勉強したことをワンポイントアドバイスで計画的に合格しよう

２．働きながらでも合格は勝ち取れる。

初めての試験はとても不安、しかし試験を紐解けばあら不思議。そうなんだ。

１科目でも受かったときの喜びを、次の試験はその受かったときの喜びをイメージしよう。

受験にはコツがある。５割はほぼ問題をよく見れば解ける。後の１割がミソ。（６割合格）

４割は間違えてもだいじょうぶの気持ちが大切。

出題の構成

１割は出題率が低くかなりの知識が必要　１割は出題率が高いが確かな記憶が必要。
（上記２割は人物や歴史など記憶問題で混同するし時間をとるので、後回しでもＯＫ）
３割は過去問の変形　５割はほぼ過去問にある出題なので解答しやすいはず。
（ここがねらい。確実に６割とる方法を自分なりに理解できればＯＫ）
解答のとき、５択をよく見ると２択・３択になっていると気づく　時短と狙い打ちしよう。
（さらに設問が３つと２つの組み合わせがほとんど、その意味を理解することが重要）
○× の解答は出題をよく見て文言を理解すれば一般常識でだいじょうぶ。
保育士試験のための記憶の仕方　やはり語呂合わせでイメージしよう。

３．推奨テキスト

保育士完全合格テキスト　上・下　保育士試験対策委員会　株式会社翔泳社
この２冊があれば受験には十分！！
携帯して暗記したいときには科目ごとにカットしておくと便利

次ページは

「受験のコツ」

４．受験のコツ

徹底して過去問を解くことで問題の抵抗感を減らす。

A　科目を絞る

（１）最初は９科目全て受験する

※４科目合格をめざそう！！

（２）２回目は分析して難易度の高い方からか低い方からか絞り込み

※残り５科目の合格を目指そう！！

※難易度の高い科目が残りがちなので、教育原理、社会的養護、食と栄養など覚えることの多い科目は後回しでいいのでは

（３）３回目で全科目合格を目指す

※難易度が高くても残り科目が少なくなれば集中して取り組める

B　勉強法は過去問を利用する

各科目のワンポイントアドバイスにざっと目を通してください。過去問を利用する際に活用できると思います。

（この方法は受験勉強の最初に使用し、直前はホームページを見ながら解答する）

（０）５年分、前後期、同じ科目を集中して解く

（１）一般社団法人 全国保育士養成協議会のホームページから過去問をプリント

※このときできれば両面で１ページに２面の印刷をすると携帯にも便利

（２）過去問と解答をプリント

（３）過去問に解答を「書き込む」

（４）解答を暗記する

（５）解答のキーワードをテキストで確認する

C　法律は主要な部分を押さえておく

法律には決められたルールがあり、流れを理解できると覚えていない文章、語句でも出題に対応できる。

D　イメージ記憶・どこかで見たような風景になるといい

あれ？これどこかで見た風景　なんとなく以前に歩いたところは覚えている

他にも国家試験や資格試験を受験される方にはおすすめの勉強法

「岸本郁夫」「アクティブブレイン」で検索（岸本 行央（キシモト イクオ））

鳥取市内での受講機会もあります　勉強のための記憶や方法に絶対おすすめ